



I-OWA マンスリー・セミナー講演より 2016年バフェット総会見聞記

講演：尾藤 峰男氏
レポーター：赤堀 薫里

尾藤 峰男氏プロフィール

びとろファイナンシャルサービス株式会社 代表取締役

1978年、早稲田大学法学部卒業。日興証券に1999年3月まで21年在籍。この間、投資アドバイスなど主要証券業務に携わる。英国、カナダ、オーストラリア(現地法人社長)の3カ国に勤務。2000年7月、びとろファイナンシャルサービス株式会社設立。金融機関から完全独立の資産運用アドバイザーとして、お客様の利益を最優先に、個人の金融資産や退職金の運用助言・ライフプランニングサービスを提供している。グローバルな投資理論や外国株投資、国際分散投資手法への造詣が深い。商工会議所での講演、日本経済新聞、日経マネー、東洋経済、ダイヤモンドZAIなどへコメント、執筆多数。テレビ東京、日経CNBCに出演。著書に「いまこそ始めよう 外国株投資入門」(日本経済新聞出版社)。現在日本CFA協会ウェルス・マネジメント・フォーラム幹事。東京商工会議所会員。

米国ネブラスカ州オマハに位置するバークシャー・ハサウェイとは、元は、バフェットが1964年に買収した繊維会社であり、現在は傘下に90近い企業を持つ持ち株会社です。2015年の売上高は2,018億ドル、純利益41億ドル、従業員36.7万人、時価総額は3,680億ドル、総資産5500億ドル。因みに筆頭株主であるバフェットは、資産が670億ドル(約7兆円)と、世界第3位の資産保有者であり、彼の資産のほとんどは、バークシャー・ハサウェイの株式です。





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

今回で3回目の参加となる2016年株主総会では、パークシャー・ハサウェイの取締役であるビルゲイツの姿もありました。バフェットは、資産のほとんどをゲイツ財団に寄付しています。総会では、50以上ある質問の中から、事前に質問内容を一切知らされていないバフェット(85歳)と50年来のパートナーであり、パークシャー・ハサウェイの副会長であるチャーリー・マンガー(92歳)が答えました。その中から選りすぐりの5つのバフェットへの質問に対する答を紹介します。



- ① 「どうしたら成功するか」という質問に対して、「頭が良なくてもいい。愚行を排除して、行儀よくふるまう。人に温かく接する。自分への信用や自分の感情をコントロールすることが大事。」
- ② 「会社を買収したり投資したりするときに何が大事なのか」という質問に対して、「経営陣の人的な質が一番大切であり、出来る人間には限界がない。忍耐強く待って、機会が来たら逃さない。コンサルタント等に依頼して行う企業価値評価は時間の無駄。彼らはお金をもらうために大量の資料を作成するが、必ずしもそれが正しいとは限らない。」バフェットは、買収価格の交渉や値引きは一切しません。
- ③ 「コカコーラは健康に悪いのに、まだやめないのか」という質問に対して、「好きなものを食べて幸せでいれば長生きできます。一日の消費カロリーである2,700カロリー位の中からコカコーラはその1/4をとっている。つまり、一日のカロリーの範囲内でどれだけのカロリーや糖分をコカコーラから摂り、その分、他から摂らなければいいだけの話です。」
- ④ 「自己向上について」という質問に対しては、チャーリーマンガーが答えました。「もっとお金が出来ていれば・・・、もっと有名になっていたら・・・、ということで後悔はしていないが、もっと早く賢くなれなかったことに後悔している。嬉しいことは、私は92歳だが、取り組まなくてはならない、まだ知らない沢山のことがあること」。マンガーもバフェットも学び続け、無知の排除に努めています。
- ⑤ S&P500インデックスファンドと、ヘッジファンドグループが推す5つのベストファンドの、2008年から10年間のパフォーマンスについて、100万ドルの賭けを行っています。現在途中経過ですが、S&P500インデックスファンドの2008年からのパフォーマンスは、+65.7%、ヘッジファンドグループが推す5つのベストファンドのパフォーマンスは+21.9%。ちょうど3倍近く違います。これに対してバフェットは「フィーの高さが原因であり、ウォールストリートは投資能力より販売能力が高い」と言っています。

バフェットの投資哲学は、

- ① バリューストック投資の元祖「ベンジャミン・グレアム」の教えを固く守り続けること。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

- ② ほどほどの会社を素晴らしい価格で買うより、素晴らしい会社をほどほどの価格で買うほうがずっとよい。
- ③ 人は買ったらすぐ上がることを願うが、そのあと安い時が続けば安く買える期間が続くのだから、むしろ喜ぶべきだ。
- ④ 投資する会社の経営者が「利益を上げられるか」より「信用できる人物か」を見抜け。
- ⑤ スコアボードを見て試合をするな。フィールドを見て試合をしろ。株価を買うのではなく、ビジネスを買う。つまり、プレイしている人間、監督、マネジメントをしている人達が日々どれくらい努力しているのかを見て買うのだ。

この後、講演では、更にバフェットの投資哲学の紹介や投資する企業のポイントの解説がありました。実際に現場を見た方のお話なので臨場感たっぷりでした。最後にバフェットの人間としての魅力や生き方から、私達が投資だけに限らず生き方としても学べるエッセンスをご紹介いただきました。